

発議第5号

令和4年 9月 5日

みやき町議会議長 岡 広明 様

提出者 みやき町議会議員

伊藤 香文

賛成者 みやき町議会議員

古賀 通 吉村 梅雄
平野 達矢
宮原 宏典

燃料・肥料・飼料価格高騰等対策に関する意見書について

上記の議案を、別紙のとおり会議規則第14条第1項の規定により提出します。

燃料・肥料・飼料価格高騰等対策に関する意見書

農畜産物の生産現場では、高齢化の進展による担い手不足や、災害による農業生産基盤の弱体化等、農業を維持・発展させる上で多くの課題を抱えている。

こうした中、食料や資源の多くを海外に依存する我が国は、諸外国の輸出規制、緊迫化する世界情勢のあおりを受け、農畜産物の生産に必要な燃油・肥料・飼料価格のほか、被覆資材などの生産資材、ハウスや共同利用施設の建築費等も高騰し、管内の農業振興に多大な影響を与えている。さらにはコロナ禍の影響も加わり、安定して農畜産物を生産していくことが困難になりつつあり、今まさに、将来を見据えた食料安全保障の強化が求められている。

今直面している様々な農政課題を乗り越え、食料・農業・農村基本計画で定める農業生産基盤の維持強化や食料安全保障の強化を達成していくため、下記事項の実現を強く要請する。

記

1. 燃油価格高騰対策

(1) 施設園芸等燃油価格高騰対策の継続・改善

施設園芸等の燃油価格高騰対策は令和4事業年度までの措置となっており、令和5年度以降は継続可否を含め見直すこととなっている。最近の燃油情勢を踏まえると事業継続の意義は強く、また、生産現場から事業継続を求める声も多いことから同事業の継続や運用改善・支援拡充を求める。

(2) 県による燃料費支援事業の継続・拡充

燃油価格高騰の影響を受ける生産者の経営安定のため、佐賀県単独事業として措置している佐賀県園芸生産燃料費支援事業費補助金について、今後の燃油価格の動向を踏まえた同補助金の継続と、対象品目・施設の拡充を求める。

2. 肥料価格高騰対策

(1) 肥料価格高騰セーフティネット対策の創設と万全な制度設計

肥料のセーフティネット創設に関する議論が進む中、創設される制度内容によっては支援にかかる事務も膨大になることが想定される。多くの農業者を漏らすことなく、かつ、速やかな支援を可能とするセーフティネットの構築を求める。

(2) 肥料高騰の影響を受ける生産者への支援

肥料原料産出国の輸出停滞など、世界情勢の緊迫化の影響により肥料需給がひっ迫し、価格が高騰している。農業生産コストの増大により生産者の営農意欲の減退が危惧されることから、生産者がコスト高を乗り越え、将来にわたり農業生産が継続できるよう、生産者への支援を求める。

3. 飼料価格高騰対策

(1) 配合飼料価格安定制度の財源措置

配合飼料価格が高値で推移する中、配合飼料価格安定制度は畜産農家が経営を継続する上で不可欠な制度となっている。同制度の安定的な運用に向け、財源が枯渇することがないように、十分な財源確保を求める。

(2) 飼料価格高騰の影響を受ける生産者への支援

最近の飼料価格の高騰と配合飼料価格安定制度の生産者積立金の増加、配送運賃上昇を受け、畜産農家の経営は非常に厳しい状況下にある。価格高騰の長期化も想定されていることから、価格の動向をとらえながら畜産農家の負担軽減に資する対策を求める。

4. 持続可能な農業の確立に向けた取り組み

生産コストの上昇にコロナ禍等の影響も加わり、安定して農畜産物を生産していくことが困難になりつつあるなか、生産コストの価格転嫁など再生産に配慮された適切な価格形成も課題となっている。

持続可能な農業の確立に向け、管内農畜産物の魅力の発信等を通じたブランド力のさらなる向上への取り組みを求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和4年 9月 14日

佐賀県みやき町議会

内閣総理大臣	岸田 文雄 殿
財務大臣	鈴木 俊一 殿
経済産業大臣	西村 康稔 殿
経済再生担当大臣	山際 大志郎 殿
農林水産大臣	野村 哲郎 殿
佐賀県知事	山口 祥義 殿